

ごんご囃子

ごんご囃子の経緯

昭和60年「第7回津山納涼ごんごまつり」からごんごおどりが始まりました。当時は花火大会だけで終わっていたため、市民が参加でき、花火に負けないようなものをということで、踊りが始まりました。当初は現在のものとは違う踊りでしたが、より皆が楽しんで踊れる曲にするために、平成6年のごんごおどりが終わった後に「おどりプロジェクト」が立ち上がり、曲が公募されました。その曲に歌詞を加え、おどりの先生に振付をお願いしたのが、現在の「ごんごばやし」です。平成7年に現在の「ごんごばやし」を披露し、平成8年から皆で踊るようになりました。

ごんごとは

「ごんご」とは津山地方の方言で「河童(かっぱ)」という意味。津山市内を流れる吉井川に昔、河童が生息していたという河童伝説に由来します。

津山納涼ごんごまつりとは

観客の方も
ゴング(かっぱ)の
コスチュームで
見に来てね♡

津山納涼 ごんごまつり

IN 吉井川

よみがえれ川の魂

「津山納涼ごんごまつり」のメインテーマは「よみがえれ川の魂」。ごんご踊り、花火大会、夜店、ステージ演奏などのイベントが楽しく行われる。なかでもフィナーレを飾る花火は、岡山県北最大級の規模。花火が川面に映え、津山の夜景と相まって幻想的な光景となる。



■連絡・お問い合わせ先
津山納涼ごんごまつり実行委員会事務局
津山市観光振興課
TEL.0868-32-2082 FAX.0868-32-2154
〒708-8501 津山市山北520
E-mail kankou@city.tsuyama.okayama.jp
URL http://gongo.e-tsuyama.com/



ごんご踊り参加者大募集!!



ごんごまつり公式ホームページ
<http://gongo.e-tsuyama.com/>

ごんごまつり

検索

バーコードで携帯から当日のスケジュールや
最新情報ゲットできるよ駐車場等の情報ゲット!



花火 Photo : Studio Triton



ごんご雑子 歌詞

(やあやあ)

作州津山のごんごのつたえ いまに語るはひとよの夢か
のぞきの淵のおくそこ深く ごんごのテツつあん棲むという
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

ごんごのテツつあん さだかでないが
生まれて百年川からでない

ある時水辺にうかんでみたら 津山の小町が橋のうえ
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

見とれるうちに津山の小町 あつというまにその身を投げた
投げたところが真下にごんご 思わずしつかとだきとめた
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

わけを聞くうち ごんごのテツつあん
思わず知らずもらって泣いた ほれたおとこにいない縁談
ことわりきれぬは世間様

ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

なやみのたねもいろいろあるが ときに人生なんとかなるが
そうてあかした吉井の河原 こいの思いもとめられぬ

ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

うれしたのしや三日と三晩 夢のまくらはあけずにおくれ
どこまで続くぞのぞきの淵の ごんごのすみかはしあわせか
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

人のうわさは風より早い このときばかりと情けをかける
むすめ探してよぶ声三声 ほれた男が橋のうえ
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

あはれ姿はかぶきのさまか きまるせりふの ひとこときけば
こころがわりは二八の娘 ほれたおとこ橋のうえ
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

かなしテツつあん後追いかけた 涙ながらに一里か二里か
しらすしらすのあたまの皿は 水がなくなりやいきだおれ
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ さあさあ、それからどした

あはれごんごに水やれそやれ のぞきの淵まで帰しておくれ
さあさあごんごに水やれそやれ 命の水をかけとくれ
ソーヤレ、ソーヤレ ごんごに水やれ
水やれ、水やれ

